板ジャッキ、専用ポンプ取扱説明書

板ジャッキをご使用になる前に必ず「取扱説明書」を良くお読み戴き、充分にご理解戴いた上で御使用下さい。「取扱説明書」をお読みになった後は、使用者が常に見られるよう必ず保管して下さい。

⚠ 警告：危険禁止事項

1. 名称は板ジャッキとしておりますが、ジャッキとしての御使用は絶対にしないで下さい。切断した溝に入れ構造物破壊用としてお使い下さい。
2. エンジン始動時は必ずバルブを開けてから始動して下さい。始動困難になります。
3. 板ジャッキにホースカプラーを取り付ける際には、必ずカチッと音がするまで入れ、カプラーを引っ張り抜けない事及び確実に接続されている事を確認して下さい。確実に接続しませんと、圧力によりホースが外れて飛んでしまい、非常に危険で重大事故の原因になります。
4. ポンプホースを接続する際ポンプを起動し、水を出してホース内のエアー抜きを完全にして下さい。
5. 板ジャッキを加圧する際には、非常に危険ですので充分に板ジャッキから離れて下さい。
6. 板ジャッキ本体の拡張前の耐圧力は 250kg/c ㎡の耐圧力を持っていますが、拡張後は 25kg/c ㎡以下で破壊しますので、非破壊物にクラック（ひび）は入った時点で加圧を中止して下さい。特に水平方向の加圧の際には絶対に手、足、その他等の物を拡張した溝に入れないで下さい。重大事故の原因となります。
7. 板ジャッキを加圧する際、コンクリート等の構造物は一瞬に破壊しますので、被破壊物の落下、鋏込み等が無きよう、充分に注意し施工して下さい。
8. 板ジャッキには必ず専用ポンプを使用して下さい。専用ポンプを使用しませんと重大事故の原因となります。
9. 板ジャッキは一度拡張させますと耐圧力は極度に低下しますので、プレス等で潰しての再使用は絶対にしないで下さい。重大事故の原因となります。
10. 冬季は凍結防止の為、タンク内の水を抜きポンプを 2 分程（長時間運転しますとポンプ焼損の原因になります）回して水を完全に抜いてください。
11. エンジンタイプは室内、空気の換気の悪い場所では絶対に使用しないで下さい。重大事故の原因となります。
12. モータータイプは感電、漏電の恐れがありますので水の掛かる場所では絶対に使用しないで下さい。
13. 可動部や回転部に手や足等を入れたり、触れないで下さい。
14. エンジンタイプにガソリンを給油する際は、必ずエンジンを停止してから給油して下さい。
15. その他ご不明な点がございましたら弊社までお問い合わせ下さい。

クライム
〒146-0081　東京都大田区仲池上１丁目２９番３号
℡：03-3753-2014
fax：0-3753-2229
URL：http://home.catv.ne.jp/kk/climb
E/mail：climb@ma.catv.ne.jp

板ジャッキ使用要領書（１）

1. ポリタンクに清水を入れる（清水以外は絶対に使用しないで下さい.故障の原因となります）
2. 使用するホース側のバルブを開ける（全開）
3. 圧力調整弁を圧力の掛からない位置まで戻っているかを確認する.
4. ポンプを始動する.（エンジンタイプは低速回転）
5. 圧力調整弁を圧力の上がる方向に少し閉め込み、ホース先端のカプラーから水が出るまでエアー抜きをする.（カプラーは上向きにしておいて下さい.）
6. ポンプを停止する.
7. 板ジャッキを破壊する構造物の溝に挿入する.
8. ポンプホースカプラーを確実に接続する.
9. ポンプを始動（(エンジンタイプは中速回転）
10. 圧力調整弁ネジを少しずつ閉めて圧力を上げる（この時急激に圧力を上げると板ジャッキの耐圧が極端に下がり破裂します）
11. 板ジャッキが拡張し挿入した溝が開き始めたら、至急バルブ締め込んで下さい。（そのまま注入しますと、板ジャッキはすぐに破壊します。）
12. 圧力調整弁を圧力０の位置まで戻す。
13. 圧力調整弁を締め込みながら圧力を序々に上げていきますと再度拡張し始めます。(板ジャッキが拡張し始めていますので、耐圧は急激に低下しますので、圧力は 5Mpa/c ㎡以下にして下さい。)
14. 溝が拡張し終わったらバルブを閉じる.(そのまま注水しますと板ジャッキは簡単に破裂します)
15. ポンプを停止し終了.

⚠ 注意：板ジャッキに圧力を掛ける際、圧力調整弁を高い圧力のままで注水しますと、水の流入量が多過ぎ、板ジャッキの耐圧は極度に低下し破壊しますので充分に注意をして下さい.

⚠ 警告：板ジャッキに耐圧以上の圧力が掛かった際、板ジャッキが破断し急激に水が突出します。危険ですので板ジャッキから充分に離れて作業をして下さい。

⚠ 注意：板ジャッキの膨張する前は高い耐圧力を持っていますが、破壊溝が開き膨張し丸く変形し始めたら耐圧は極端に低下します。

その他注意事項：

エンジン、ポンプ本体の取り扱いは各々の取り扱い説明書を良くお読み下さい。

その他御不明な点がございましたら、弊社までお問い合わせ下さい。

クライム

〒146-0081　東京都大田区仲池上１丁目２９番３号

℡：03-3753-2014

fax：0-3753-2229

URL：http://home.catv.ne.jp/kk/climb

E/mail：climb@ma.catv.ne.jp

板ジャッキ使用要領書（２）

ポリタンクに清水を入れる

↓

ホースのバルブを開ける（全開）

↓

圧力調整弁の戻りを確認

↓

ポンプ始動　（エンジン回転は低速回転）

↓

ホースのエアー抜き

↓

ポンプ停止

↓

板ジャッキを溝に挿入

↓

カプラー接続

↓

ポンプ始動（エンジン回転は中速回転）

↓

圧力調整弁ネジを閉め序々に圧力を上げる

↓

溝にクラック（ひび）が入る｛溝を確認しながらひびが入り始めたらすぐ、（ここがポイント！）

↓

バルブを即時閉める　（溝が拡張したら即時）

↓

圧力調整弁ネジを緩め圧力を０Mpa/c㎡まで下げる＊注意　圧力をそのままにすると破裂します。

↓

バルブを開ける

↓

圧力調整弁ネジを開け序々に圧力を上げる　（圧力は破壊状態を見ながら 5Mpa/c㎡以下）

↓　（板ジャッキが丸く拡張した状態）

バルブ閉める

↓

ポンプ停止

↓

終了